

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	脈絡叢癌における TP53 変異検索及びドラッグスクリーニングによる最適治療の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象は当院で 2010 年以降に脳腫瘍に対して手術を受け、脈絡叢癌と診断された患者さん。 研究責任者：脳神経外科 助教 棗田 学
③ 概要	脈絡叢癌は、極めて稀かつ予後不良な小児脳腫瘍であります。最新の知見から、本腫瘍は高率に TP53 遺伝子（癌を起こさないようにする癌抑制遺伝子）に異常を伴うことが解ったが、標準的な化学療法が未だ確立していません。そこで、我々は脈絡叢癌における TP53 異常がないかを調べ、摘出した腫瘍組織より培養細胞を樹立し（細胞株の培養に関しては別に書面で説明し、同意書を取得します。）、その細胞株を金沢大学との共同研究で薬剤スクリーニング（培養細胞株に対して 1000 種類以上の薬剤で治療し、有効な薬剤候補を探す方法）を行うことで、治療法のない脈絡叢癌の新規治療法の開発を目指した研究を行います。本研究によって、予後不良な脈絡叢癌に対する有効な治療法の発見、および予後の改善が期待されます。
④ 申請番号	2020-0073
⑤ 研究の目的・意義	脈絡叢癌における TP53 遺伝子異常を明らかにし、薬剤スクリーニングにより最適な治療薬剤を同定します。
⑥ 研究期間	倫理委員会申請日から 2025 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	手術で摘出した組織を使用し、TP53 遺伝子変異を調べ、培養細胞株を樹立します。電子カルテに保存されている病歴を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。「ヒト脳腫瘍からの安定脳腫瘍幹細胞株の樹立と新規治療薬の探索への基礎研究（承認番号 2015-2583; 2020 年 3 月に研究延長承認済み）」の研究に参加され、予め公開の同意が得られた場合、遺伝子データを公開データベース（NBDC ヒトデータベース、dbGAP、GEO）に公開する場合があります。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、治療内容）、樹立した培養細胞株を金沢大学に提供します。
⑨ 利用の範囲	新潟大学脳神経外科学、小児科（主に TP53 遺伝子検査、薬剤を用いた治療実験を行う）及び金沢大学脳神経外科、がん進展制御研

	研究所（薬剤スクリーニングを行う）
④試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学 脳神経外科 特任准教授 棗田 学
④お問い合わせ先	新潟大学 脳神経外科 025-227-0653 Email: shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp